

平成二十九年 一般入試問題

国語

(解答時間 五〇分)

(配点 一〇〇点)

〔注意事項〕

1. 問題用紙は開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は□―□です。最初に確認すること。
4. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
5. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
6. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

社会の仕組みや価値構造がはげしく変動し、落ちつきを失った世の中で、子どもたちも「落ちつき」を、そして「落ちつきどころ」、つまり「居場所」を失っている。学校も家庭も「落ちつける場所」ではなくなってしまった。このような時代に、子どもたちは、心の落ちつきをどのように取り戻せばよいのだろうか。この「落ちつき」とは何だろうか。「居場所」とはどこにあるのだろうか。

(ア) 空間と人間との関係を考える上で、大きな転機になったのが、高度成長時代以降の住宅理念や都市政策であろう。高度成長時代、大都市に人口が集中し、住宅確保のために、各地にニュータウンが造成された。大都市近郊の里山を切り開き、造成して、(イ) 新しいコンセプトによって街がつけられた。そこには新しい家族の理念があった。

わたしが教えた学生のSさんは、一九七〇年代に、名古屋近郊のニュータウンで育った。このニュータウンには多くの同じ形をした家があり、同じ年齢の夫婦と同じ年齢の子どもたちが暮らしていた。どこを見ても同じような風景であった。遅くに帰宅する父親たちは、しばしば自分の家がどこだか分からなくなって、間違えて他人の家に入り込んだ。

Sさんは、そんな風景のなかで、「わたしはわたしでなくてもいいのではないか」という感覚に襲われたことがあったという。新しい家族のコンセプトによってつけられたニュータウンは、自分を取り替えのきく存在と感じさせ、その意味で個性を①ソウシツさせる空間でもあった。

Sさんのことでは、その空間がSさんにとって一種の原風景であったという。「自分でなくてもいいのではないか」という自己意識の危機の記憶と結びついた風景である。しばしば原風景には、田舎のイメージ、農村のイメージがあって、「日本人の原風景」といった言い方がなされる。しかし、それは、おそらく高度成長時代以降、大量に農村や山村から都市へ移動したひとびとにとっての原風景であったに違いない。

《2》

どれも同じような核家族の住宅は、それまでの日本家屋の構造に代わって洋風のものになった。畳とちゃぶ台の居間はフローリングとテーブルが変わった。障子やふすまはなくなり、壁が部屋を仕切るようになった。子どもたちには、子供部屋があてがわれて、プライバシーが確保されたといわれた。子どもたちは、壁に守られた空間のなかでだれにも見張られることなく、自由にふるまうことができるようになった。こうすることが個の自立を助けることと思われていた。近代的な自己の自立を助けるこのような住宅が「文化住宅」と呼ばれたりした。

(中略)

障子やふすまの空間では、中の様子はのぞけるし、声は聞こえてくる。そのような空間では、壁に仕切られた空間のようにプライバシーな空間の確保は難しい。だから、それは前近代的な空間だと思えばいいしやすすい。だが、これは根本的な思い違いである。障子やふすままで仕切られた空間では、プライバシーは存在しなかったのかというと、そうではない。この空間では、プライバシーなことは、たとえば見えても見ない^aことにし、聞いても聞いていないことにする。そのようにするための自己抑制が必要であった。個であることは、ハードな隔壁によって守られるのではなく、個人の抑制されたふるまいのなかにあったのである。障子やふすまの空間がなくなるといふことは、そのようなふるまいを訓練するための装置を失うことを意味した。

《3》

多機能の居住空間は、高度経済成長の時代に西洋的個性尊重の単一機能空間へと分化し、ゾーニングされた。ちゃぶ台を囲んで三世代がいっしょに食事をする「サザエさん」や「ちびまる子ちゃん」の世界は、おとなたちにとっては②羨望の対象であり、今の子どもたちにとっては、見たこともない^b羨望の空間だと聞いたことがある。

ニュータウンの風景は、それまで存在しつづけた里山空間を(X)根こそぎにして造成された。それは、新しいコンセプトでつくられた空間、コンセプト空間であり、その風景は、新しいコンセプトでつくられた空間である。子どもたちは風景を見ているように見えるが、A おとなたちのコンセプトを見ているのである。その与えられたコン

セプトのなかで、そのコンセプトに適合するように身体を調整する。こどもたちの遊びは、そのようにコンセプト空間に対応するコンセプト遊技である。そのようにして、^(ウ)身体までもがコンセプト化されてゆく。

□ B □、Sさんは、高校時代にニュータウンから^(Y)雑然とした旧市街に移り住んだ。そのときの違和感には、表現しがいものがあつたという。

新しい自宅の近くには古い神社の森があつた。その暗く、湿った空間は、コンセプトを超えるものをもっていた。^(エ)そこにはコンセプトによっては捉えられない風景の奥行きがあつた。風景が奥行きをもつことを、わたしは「風景のひだ」と呼びたいと思う。風景のひだの奥には、空間のもつ⁽³⁾履歴が存在する。ひとの人生の長さを超える履歴がひそんでいる。その履歴をもつ空間のなかに自分の存在を得ることで、自己の存在は、時間的存在であることを確認し始める。Sさんは、その神社と人間の意味を問うために、⁽⁴⁾サンパイするひとびとの写真を撮りつづけたという。⁽⁴⁾

空間と自己の発見こそ、□ C □、空間と自己のかかわりの発見こそ、自己の履歴の発見である。積み重ねられた履歴をたどって、履歴に組み込まれた体験を思い起こすとき、ひとは自分の存在を知る。自己を知る最初の体験とは、それまでの自分とは違う自己の発見である。その意識は、風景のなかに埋もれている自分を掘り出すことである。風景を見、風景に触れる自分を意識することである。この風景と自己の関係の把握という新しい事態こそ自己変容の起点であろう。わたしは、自己変容の起点こそが原体験であり、そのときの風景を原風景と捉えたい。自己が身体的存在であるかぎり、自己の変容はそのときの風景とともにある。わたしがわたしであり始めた体験からけつして切り離すことのできない風景、それこそが原風景である。原体験とは、身体空間での自己変容のプロセスを想起するとき、時間的な起点となる体験である。また、原風景とは、自己変容の自覚とともに想起される身体空間の相貌である。⁽⁵⁾

原風景では、自己の身体と身体の置かれた空間とが不可分に⁽⁵⁾ユウゴウしている。その点で、「原風景」と「原体験」とが並列して置かれることには十分な理由がある。体験とは自己の身体の置かれた空間の知覚とその空間での出来事の記憶と

を不可分な要素として含むものだからである。体験とは、自己の身体が置かれた空間での自己の身体的配置のもとで、その空間に配置をもつ事物やひとびとのかかわりを体験することであつて、この配置なくして経験は与えられ^(b)ない。

原風景は、つねに自己のものであり、他者のものでは^(c)ない。それは、かけがえのない風景である。□ D □、原体験は、かけがえのない^(d)風景体験である。わたしは、風景を「自己と世界とを分かちそしてむすぶもの」と考えるが、同時に、自己と他者とをむすぶものでもあると思う。□ E □モノやひととの出会いがあつてはじめて自己が履歴をもつ自己となるからである。ただし、「原風景」はあくまで自己の風景である。他者がわたしの原風景を設定し、また、原体験を操作したり、支配したりすることはでき^(e)ない。

(桑子 敏雄「感性の哲学」より)

問一 傍線部①～⑤について、カタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二 空欄A～Eに入る語として最も適当なものを、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(但し、同じ番号は複数選択しないこと)

- 1 だから
- 2 だが
- 3 あるいは
- 4 なぜなら
- 5 じつは

問三 二重傍線部(X)「根こそぎにして」、(Y)「雑然と」の本文中での意味として最も適当なものを、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(X) 「根こそぎにして」

- 1 そのまま残して
- 2 根本にすえて
- 3 基準としないで
- 4 少しも残さないで
- 5 模倣しつくして

(Y) 「雑然と」

- 1 誰もいなくて静かな様子
- 2 人が集まっただがやがやしている様子
- 3 色々なものが入り混じっている様子
- 4 どっしりと落ち着いている様子
- 5 人がまばらでひっそりとしている様子

問四 空欄1には、「過ぎ去った時代や、もう戻れない過去を懐かしむ気持ち」という意味の語句が入るが、その語句として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 アイロニー
- 2 ノスタルジー
- 3 ストイック
- 4 パラダイム
- 5 リベラル

問五 波線部(a)～(e)「ない」の働きが同じもので分けると、どのようになるか。その組み合わせとして最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 (a)・(c)と(b)・(d)・(e) | 2 (a)・(b)・(c)と(c)・(d) | 3 (a)・(b)・(d)と(c)・(e) |
| 4 (a)・(c)と(b)・(c)と(d) | 5 (a)・(b)と(c)・(d)と(c) | |

問六 傍線部(A)「空間と人間との関係」とあるが、この「関係」を考慮することで発見されるものは何だと筆者は述べているか。最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 自分を取り替えのきく存在と感ぜさせ、個性を帳消しにしてしまう空間。
- 2 高度成長以降、大都市に見られた自己意識の危機の記憶と結びついた空間。
- 3 近代的な自己の自立を助ける、プライバシーが守られた空間。
- 4 自己抑制によってのみプライバシーが確保されるような単一機能空間。
- 5 自己変容の起点としての原体験を成立させる、原風景たりうる空間。

問七 傍線部(イ)「新しいコンセプト」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 同じ形をした家、同じ年齢の夫婦と子どもたち、取り替えのきく自分といった均質化の概念。
- 2 人口が集中した都市、切り開かれた里山、前近代的な造成を目ざす発想。
- 3 同じ形をした家、遅くに帰宅する父親、楽しげな子どもたちがいる家庭といった典型的な着想。
- 4 田舎のイメージ、農村のイメージ、日本人の原風景という象徴的な目標。
- 5 核家族の住宅、個の自立を助ける部屋、プライバシーが確保された空間をつくる理念。

問八 傍線部(ウ)「身体までもがコンセプト化されてゆく」とあるが、どのような状態を言っているのか。最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 新しいコンセプトや住宅理念に則って部屋を壁で仕切りプライバシーを確保したように、人間同士の身体の間があまりでも分断し、個性も奪ってしまった状態。
- 2 近代的な自己の自立や個性の尊重を助けようとした西洋風居住空間によって、人間の身体までもコンセプトに合わせて自己抑制しなければならなくなった状態。
- 3 コンセプトに基づいてゾーニングしてきた空間や風景に影響されるように、人間の身体や思考、個性までもコンセプトを超えるように仕向けられている状態。
- 4 壁に仕切られて作られた近代的な自己の自立を助けるようなコンセプトに人間の身体が対応してしまい、自己抑制を訓練する機会までも奪われてしまった状態。
- 5 新しい家族理念に基づいて出来上がった西洋的個性を尊重した居住空間が、人間の従来のコンセプトを変容させてしまい、身体までもが意のままにならなくなった状態。

問九 傍線部(エ)「そこにはコンセプトによっては捉えられない風景の奥行きがあった」とあるが、そのように言える理由として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 人間が意図的につくり出した風景でなく、人間の一生を超えるような風景の中から、そこに埋もれた自分を掘り出すほどの深さを持つものであるから。
- 2 人間が無秩序に生み出した空間でなく、空間のもつ履歴を、自己の存在や時間的存在と結びつける神秘性を持つものであるから。

- 3 人間の自然破壊により獲得した風景でなく、人知を超えた人の手の入らない原風景の中で、人生の意味を見出す広さを持つものであるから。
- 4 多くの人間によって計画的につくられた風景でなく、人間が介入しないところでひっそりと履歴を積み重ねた悠久性を持つものだから。
- 5 没個性や画一化といったテーマでつくられた空間でなく、長い時間と太古の自然の織りなす履歴に支えられた、複雑かつ重厚さを持つものであるから。

問十 本文中には次の一文が抜けている。本文中の《1》《5》より入るべき箇所を一つ選びなさい。
はじめから、ニュータウンに育ったこと私たちにとっては、造成された空間こそが原風景だろう。

問十一 本文の内容としてふさわしくないものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 社会の仕組みや価値構造が変動した世の中で、こどもたちは心を落ち着ける「居場所」を失ってしまった。
- 2 高度成長時代に、大都市近郊の里山を切り開きつくられたニュータウンには新しい家族の理念があった。
- 3 家屋に障子やふすまの空間がないということは、自己抑制のふるまいを訓練できなくなることの意味している。
- 4 自己が身体的存在であるかぎり、自己の変容はそのときの風景とともにあり、その風景こそが原風景である。
- 5 原風景は自己のものであるが、自己の原風景が他者によって設定されるのは、かけがえのない体験となる。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

先ほど、本も人だと言いました。なかでも歴史の本は、先人との出会いということになります。歴史の本を読めば、私たちは偉大な歴史上の人物とも対話ができるわけで、そう考えるととても素敵なことです。

キケロは「自分が生まれる前のことについて無知でいることは、ずっと子どものままでいることだ」という名言を残しています。大人になるということは、生まれる前のことを知ることなのです。つまり歴史に触れるということなのです。歴史上の人物と対話をしようと思ったら、^(ア)優れた歴史の本が必要です。優れた^(A)歴史書があれば、先人がどのような状況で、どう考え、どう行動したかがよく分かります。優れた歴史書であればあるほど、彼らの思考や判断の実相に肉迫することができます。そして、たとえ^(I)であつても、彼らが体験したことを追体験することによって、私たちの血肉になるものを必ず得ることができます。

歴史については、「民族の数だけ歴史がある」と言う人がいますが、私は違うと思っています。民族の数だけあるのは歴史に対する「思い込み」や独自の「解釈」です。起こった歴史(出来事)自体は、あくまでも一つです。

しかし、その起こった「一つの出来事」がどのようなものだったかがよく分からないことが多々あります。時代をさかのぼればさかのぼるほど、一次資料の制約も生じてきます。その謎のすき間をモザイクのような断片情報を少しずつ積み重ねて埋めていくのが歴史という学問です。歴史とは、さまざまな資料や文献、自然科学的知見(花粉分析など)などを総動員して少しでも「一つの出来事」に近づこうとする営為です。歴史書は(歴史小説も含めて)、基本的にそのスタンスで書かれることが望ましいと思っています。

ところが、作者が初めからこういうストーリーの歴史を題材にした物語を描きたいと思つて、自説に都合のいいモザイクの断片だけを[※]恣意的に採用する場合があります。「物語」としてはそれでもいいと思いますが、それを「歴史」と混同してはなりません。

日本の経営者が好きな作家に司馬遼太郎がありますが(私も大好きです)、司馬作品は一般に「物語」性が強く、とても「歴史」とは言えないと思います。「司馬史観」という言葉があるように、司馬遼太郎の「物語」は初めに結論ありきのような気がしています。その結論に合致するモザイクだけを採用して、話が美しく組み立てられています。

司馬作品はある意味でトルストイの作品に似ています。トルストイについては、歴史学者のジョン・ルカーチ氏が次のように評しています。「戦争と平和」に描かれた歴史は、トルストイ個人の意見と偏見によって、歪められ、ねじ曲げられている(『歴史学の将来』みすず書房)。同じことが、程度の差はあつても司馬作品にも言えるのではないのでしょうか。

司馬作品はエンターテインメントの「物語」として読めば面白いし、文章も素晴らしい。読者を酔わせてくれるものがあります。しかし、^(B)「歴史」小説ではない。「歴史」小説は、できるだけ[※]エビデンスに基づいて当時の出来事を正確に再現し、どうしてもエビデンスが足りないところだけを想像力で補うものだと思います。起こった「一つの出来事」に限りなく誠実であろうとするのが「歴史」や「歴史」小説本来のあり方だと思つています。その意味では、司馬作品よりはたとえば半藤一利氏の作品のほうが、はるかに「歴史」に近いのではないのでしょうか。

歴史上の人物たちが語りかける言葉に、私たちは素直に耳を傾けるべきです。彼らが収めた成功だけではなく、彼らが犯した失敗をも学ぶことによって、彼らが陥った落とし穴に落ちないようにしなければなりません。それが歴史を学ぶということであり、先人たちのメッセージを受け取るということです。同じ失敗を繰り返さないことで、人間は少しずつ賢くなってきたと言えらると思います。

ところが、失敗の歴史に学ぼうとはしない人たちもいます。政治家やリーダーにそのような人たちが出てきたら厄介です。

「資本家は金儲けに狂奔し、政治家はナショナリズムを弄んでいる」という言葉があつたように記憶しています。多くの

皆さんは現在の風潮を危惧した言葉だと思われるかもしれませんが、じつは、これはたしか第一次世界大戦前夜に語られた言葉でした。そして、この言葉が危惧した通り、世界は史上初めての世界大戦、総力戦に突入したのでした。

私たちは負の遺産をも先人たちから学ぶべきなのです。それができなかつたら、彼らの子孫として生きている意味がないではありませんか。

帝王学の教科書『貞観政要』に唐の太宗、李世民の有名な「三鏡」の言葉が残されています。

夫れ銅を以て鏡と為せば、以て衣冠を正す可し。

古を以て鏡と為せば、以て興替を知る可し。

人を以て鏡と為せば、以て得失を明かにす可し。

朕常に此の三鏡を保ち、以て己が過を防ぐ。

すなわち、歴史(古)を学ばなければ、未来(の興替)は見通せない、ということです。このことは、次のように考えればよく理解、納得することができます。

「リーマンショックのような Ⅱ な金融危機はまた起こるでしょうか」と尋ねると、ほとんどの人が「また起こる」と答えます。「そのときうまく対応できるのは、リーマンショックのことを必死に学んだ企業でしょうか、それとも、未
来の世界は進化しているので過去に起こった出来事は参考にならないと思つて何も学ばなかつた企業でしょうか」。こう
尋ねれば、ほとんどの人が「前者だ」と答えます。その通りです。リーマンショックという言葉を東日本大震災に置き換え
れば、もつとよく分かるかもしれません。

(イ) 将来何が起こるかは誰にも分からない。しかし、悲しいかな、人間は過去(歴史)を参考にする以外に学ぶ術を持た

ない動物です。太宗にはそのことがよく分かつていたのです。しかも、人間の脳はこの一万数千年、進化していないので
すから、過去の人間の判断や対処の仕方は、そのまま役に立つわけです。

人間は、本来、次の世代のために生きている動物です。ただ生物学的な繁殖のためだけであれば、子どもを育て上げた
ら前の世代はもういつ死んでもいい。人間が老人になつても生きているのは、人生で学んださまざまなることを次の世代に
語り伝えることによつて、次の世代をより生きやすくするためです。人はそのために生かされているのです。

私が本を読み、人に会い、旅をして学んだことのいくばくかを次の世代に引き継ぐことができれば、私が生きた意味も
少しはあるということになります。この本を通じて少しでもそれを伝えることができればと願っています。

(出口治明 『人生を面白くする 本物の教養』より)

(注)

※「恣意」……気ままな心。自分勝手な考え。

※「エビデンス」……証拠。証言。根拠。

問一 傍線部(A)「優れた歴史の本」とあるが、筆者にとっての「優れた歴史の本」とはどのような本のことか。最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 数々の名言を残した偉大な歴史上の人物と対話ができ、その人物がどのような状況で、どう考え、どう行動したかがよく分かる本。
- 2 読者が生まれる前を知ることによって、大人に成長することができ、自分自身の無知をそれとなく気づかせてくれるような本。
- 3 歴史上の人物達の思考や判断の実相にもう少しの所まで接近することができ、それによって読者の血肉になるものを必ず得ることができる本。
- 4 「民族の数だけ歴史がある」という言葉は、実は歴史に対する「思い込み」や独自の「解釈」であるということを感じさせてくれる本。
- 5 時代をさかのほればさかのぼるほど、一次資料の制限が生じてくるが、その謎のすき間を埋めるモザイクのような断片情報が他に比べて多い本。

問二 空欄I・IIに入る最も適当な語句を、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|
| I | 「1 想像的 | 2 間接的 | 3 観念的 | 4 相対的 | 5 精神的 |
| II | 「1 必然的 | 2 破壊的 | 3 具体的 | 4 演繹的 | 5 世界的 |

問三 傍線部(イ)「将来何が起こるかは誰にも分からない」とあるが、人間が将来に備える方法として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 歴史から学んだ、先人による人生のさまざまなことを次世代に語り伝えることにより、生物学的な繁殖に役立つこと。
- 2 歴史に学ぼうとしない政治家やリーダーが今後も出てこないように、次の世代の子ども達を育て上げることに注意を払うこと。
- 3 未来の世界は進化しているので、過去に起こった出来事は参考にならないと考え、常に歴史を塗り変えるよう心掛けること。
- 4 歴史上の人物が収めた成功だけではなく、彼らが陥った負の遺産ともいえる落とし穴に落ちないためにも素直に歴史を学ぶこと。
- 5 過去の人間の判断や対処の仕方を参考にしながら、一万数千年、進化していないという人間の脳を改善する努力をすること。

問四 波線部(A)「歴史書」とあるが、筆者は「歴史書」とはどのように書かれることが望ましいと思っているか。六十字以内で答えなさい。

問五 波線部(B)「歴史小説ではない」とあるが、筆者が司馬作品を「歴史小説ではない」と思っている理由を四十字以内で答えなさい。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、^A 便りなかりける女の、[※] 清水に^B あながちに参るありけり。年月積りけれども、露ばかりその^{しるし} 験と覚えたる事なく、いとど便りなくなりまさりて、果ては^{としごろ} 年比ありける所をも、[※] その事となくあくがれて、寄りつく所もなかりけるままに、泣く泣く観音を恨み申して、「いかなる先世の報ひなりとも、ただ少しの便り^{たまわ} 賜り候はん」と、いりもみ申して、御前にうつぶし臥したりける夜の夢に、「御前より」とて、「かくあながちに申せば、^C いとほしく思し召せど、少しにてもあるべき便りのなければ、その事を思し召し歎くなり。これを賜れ」とて、[※] 御帳の帷をいとよく畳みて、前にうち置かると見て、夢覚めて、御あかしの光に見れば、夢のごとく、御帳の帷、覺まれて前にあるを見るに、「さは、これより外に賜ふべき物のなきにこそあんなれ」と思ふに、身の程の思ひ知られて、悲しくて申すやう、「^D これさらに賜らじ。少しの便りも候はば、錦をも御帳には縫ひて参らせんとこそ思ひ候ふに、この御帳ばかりを賜りて、まかり出づべきやうも候はず。返し参らせ候ひなん」と申して、[※] 犬防の内^{いぬよせ} にさし入れて置きぬ。

またまどろみ入りたる夢に、「^E などさかしくはあるぞ。ただ賜はん物をば賜らで、かく返し参らす、あやしき事なり」とて、また賜ると見る。さて覚めたるに、また同じやうに前にあれば、泣く泣く返し参らせつ。かやうにしつつ、三度返し奉るに、なほまた返し給^た びて、果ての度は、この度返し奉らんは無礼なるべき由を戒められければ、「かかるとも知らざらん寺僧は、御帳の帷を盗みたるとや疑はんずらん」と思ふも苦しければ、まだ夜深く、^F 懐に入れてまかり出でにけり。「これをいかにとすべきならん」と思ひて、引き広げて見て、着るべき衣もなきに、「さは、これを衣にして着ん」と思ふ心つきぬ。これを衣にして着て後、見と見る、男にもあれ、女にもあれ、あはれにいとほしきものに思はれて、そぞろなる人の手より、物を多く得てけり。大事なる人の愁^{うれ} へをも、その衣を着て、知らぬやんごとなき所にも参りて申させければ、必ず成りけり。かやうにしつつ、人の手より物を得、よき男にも思はれて、たのしくてぞありける。

されば、その衣をば納めて、必ず[※] 先途^{せんど}と思ふ事の折にぞ取り出でて着ける。必ずかなひけり。

(注)

(『宇治拾遺物語』より)

※清水……清水寺

※その事となくあくがれて……これという確かな当てもないままに、離れてさすらい

※御帳の帷……仏前にたらす絹の垂れ布

※犬防……犬よけ 仏壇の前に立てる低い格子

※先途と思ふ事の折……ここ一番という重大な場面

問一 傍線部A「便りなかりける女」とあるが、どのような女か。最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 生活の手段を持たない貧しい女
- 2 兄弟のいない一人孤独な女
- 3 清水寺とは縁もゆかりもない女
- 4 今までは信仰心の全くなかった女
- 5 夫の実家にたよることのできない女

問二 傍線部B「あながちに」・C「いとほしく」の意味として、最も適切なものを選び、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

B 「あながちに」		C 「いとほしく」	
1	手当たり次第に	1	つらい
2	事あるごとに	2	かわいらしい
3	一途に	3	いやしい
4	突然に	4	誠実だ
5	忠実に	5	気の毒だ

問三 傍線部D「これさらに賜らじ」の解釈として最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 これより良いものを与えてください。
- 2 これだけで満足するわけにはまいりません。
- 3 これほどすばらしいものではありません。
- 4 これを決していただかないつもりです。
- 5 これは望んだものとは全く異なるものです。

問四 傍線部E「などさかしくはあるぞ」とあるが、会話主はどのようなことを「さかしく」と述べているのか。最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 観音のお告げを聞かずにまどろんでしまったこと。
- 2 観音から授かった錦の布を粗末に扱ってしまったこと。
- 3 観音に自分のほしいものばかりを望んだこと。
- 4 観音のお告げを夢ではなく現実の世界で聞いたこと。
- 5 観音から賜った御帳の帷を受け取らず返したこと。

問五 傍線部F「懐に入れてまかり出でにけり」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 観音から御帳の帷を授けられたと人々に知れたら、帷を取られてしまうから。
- 2 観音から頂いた霊験あらたかな帷なので、大事に持って帰ろうと思ったから。
- 3 観音のお告げだといえ、寺の御帳の帷を盗んだことが知れると捕まってしまうから。
- 4 事情を知らない寺の僧に、寺にあった御帳の帷を盗んだと思われると困るから。
- 5 御帳の帷は自分が持つにはあまりにきらびやかで、寺の僧にあやしまれると困るから。

問六 本文の内容と一致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

- 1 清水寺の観音を信仰していた女は、観音からの靈験を得たいがために、参詣し続けたところ、観音から帷を授かった。
- 2 女が観音からの授かりものを受け取らなかったのは、何度も返せば寺の宝を授けてくれるだろうと思ったからである。
- 3 観音から与えられた帷があまりにもすばらしかったので、女はそれに見合う身分ではない自分の不運さを悲しく思っていた。
- 4 御帳の帷を三度も返したものの、四度目に受け取ったのは、今度返したら無礼であると観音からたしなめられたからである。
- 5 御帳の帷で作った着物の功德で何でも願いがかなったので、女は毎日この着物を羽織って過ごし、寺の僧と裕福に暮らした。
- 6 女は御帳の帷で作った着物の功德を独り占めすることはなく、人から物をもらい立派な夫にも愛され、満ち足りた暮らしを送った。

問七 『宇治拾遺物語』と同じ時代に作られた作品を、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 竹取物語
- 2 平家物語
- 3 雨月物語
- 4 土佐日記
- 5 紫式部日記

平成二十九年度 一般入試問題 国語 解答用紙

受験番号		
氏名		

得点

〔注〕※欄には記入しないこと。

一

問一

④		①	
サンパイ		ソウシツ	
⑤		②	
ユウゴウ		羨望	
		③	
		履歴	

※

問二

A
B
C
D
E

※

問三

X
Y
問四

問五

問六
問七

※

問八

問九

問十

問十一

問十二

二

問一

問二

問二

I
II

問三

問四

※

問四

問五

三

問一

問二

問二

B
C

問三

問四

※

問四

問五

問五

問六

問六

問七

問七

問八



平成29年度 一般入試問題

数 学

(解答時間 50分)

(配 点 100点)

[注 意 事 項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は①～⑥です。最初に確認すること。
4. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
5. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
6. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

1

次の式を簡単にしなさい。

(1) $\left\{ \left(\frac{7}{2} \right)^3 \div \left(-0.25^2 - \frac{11}{20} \right) + 7 \right\} \times \frac{2}{9}$

(2) $(6x^3y^2 - 10y^2z^2 + 4xyz) \div (2yz) - \left\{ \left(\frac{\sqrt{3}x}{z^2} \right)^2 - \frac{2}{xz^2} + \frac{2}{yz^3} \right\} \times xyz^3$

(3) $(\sqrt{2} + \sqrt{3} - \sqrt{5})(\sqrt{2} + \sqrt{3} + \sqrt{5})$

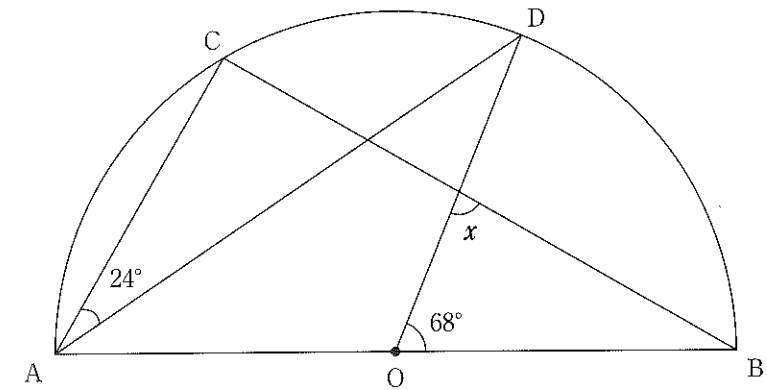
2

次の問いに答えなさい。

(1) $\frac{4}{\sqrt{5}+1} < x < \frac{4}{\sqrt{5}-1}$ を満たす整数 x をすべて求めなさい。

(2) $x = \frac{\sqrt{2}-1}{\sqrt{3}}$, $y = \frac{\sqrt{2}+1}{\sqrt{3}}$ のとき, $x^2 - xy + y^2$ の値を求めなさい。

- (3) 図のように, 線分 AB を直径とする半円 O の弧上に点 C, D があり,
- $\angle CAD = 24^\circ$
- ,
- $\angle DOB = 68^\circ$
- であるとき,
- x
- の値を求めなさい。

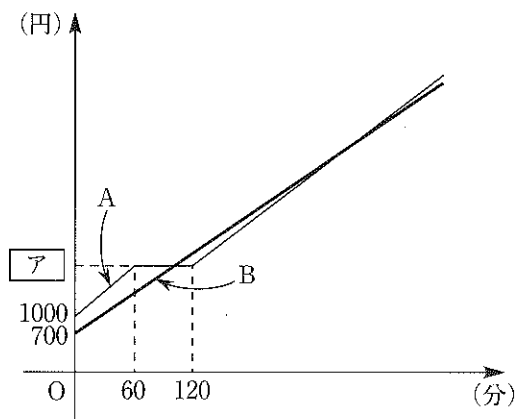


- (4) 1 から 30 までのすべての自然数の積は, 3 で最大何回割り切れるか, その回数を答えなさい。

3 下の表は、ある電話会社の料金プランであり、図はそれぞれの料金プランにおける1か月の通話時間(分)と電話料金(円)の関係をグラフで表したものである。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、通話時間とは1か月の合計であり、1分未満は切り上げるものとする。また、電話料金は基本料金と通話料金の合計とし、消費税は考えないものとする。

- (1) グラフの ア に当てはまる数を求めなさい。
- (2) AプランとBプランの月額電話料金が初めて同額になるときの通話時間を求めなさい。
- (3) 通話時間が120分を超えたとき、AプランとBプランの月額電話料金が同額になる通話時間を求めなさい。
- (4) 月々の通話時間を、短い月は40分、長い月は145分のいずれかであるとすると、1年間の電話料金はAプランの方がBプランよりも1890円高くなった。このとき、通話時間が40分、145分の月が1年間でそれぞれ何回か求めなさい。

料金プラン	基本料金	通話料金		
		1～60分まで	61～120分まで	121分～
A	1000円	1分あたり15円	0円	1分あたり13.2円
B	700円	1分あたり12円		



4 Aの袋の中には3から8の数字が書かれているカードが1枚ずつ入っている。また、Bの袋の中には1から6の数字が書かれているカードが1枚ずつ入っている。A、Bの袋の中から1枚ずつカードを引き、Aの袋から引いたカードに書かれている数字を a 、Bの袋から引いたカードに書かれている数字を b とするとき、次の問いに答えなさい。

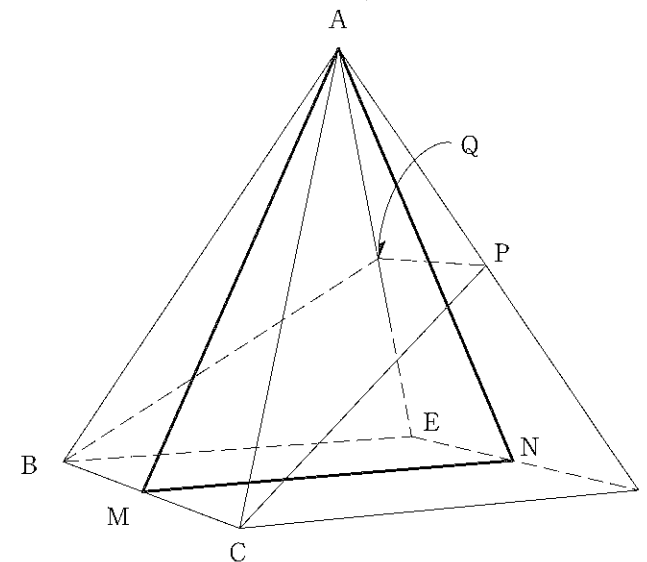
- (1) $a \geq 2b$ となる確率を求めなさい。
- (2) $\frac{ab}{2} \geq a+b \geq 2b$ となる確率を求めなさい。

5 放物線 $y=x^2$ …①上に点 $A(-1, 1)$ があり, y 軸上に点 $B(0, 2)$ がある。
 また, 直線 AB と放物線①の2つの交点のうち, A でない方を C とする。
 このとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 直線 AB の方程式を求めなさい。
- (2) 点 C の座標を求めなさい。
- (3) $\triangle AOC$ の面積を求めなさい。
- (4) 3点 A, O, C を通る円の中心の座標を求めなさい。
- (5) $\triangle AOC$ を y 軸に関して1回転させてできる立体の体積を求めなさい。
 ただし, 円周率は π とする。

6 図のように, 1辺の長さが6の正方形 $BCDE$ を底面とし,
 $AB=AC=AD=AE=3\sqrt{5}$ である四角錐がある。このとき, 次の問いに
 答えなさい。

- (1) 辺 BC の中点を M , 辺 DE の中点を N とする。3点 A, M, N を
 通る平面でこの立体を切断したときの切り口の形を答えなさい。
- (2) 辺 AD , 辺 AE の中点をそれぞれ P, Q とする。4点 B, C, P, Q を
 通る平面でこの四角錐を切断するとき, 頂点 A を含む方の立体の
 体積を求めなさい。



平成29年度 一般入試問題

数学 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

1	(1)	(2)	(3)

2	(1)	(2)
	$x =$	
	(3)	(4)
	$x =$	回

※小計A

--

3	(1)	(2)	(3)
		分	分
	(4)		
40分		回, 145分	回

4	(1)	(2)

※小計B

--

5	(1)	(2)	(3)
		C(,)	
	(4)	(5)	
(,)			

6	(1)	(2)

※小計C

--

※合計

--

受験番号				氏名			

平成29年度 一般入試問題

英 語

(解答時間 50分)

(配 点 100点)

[注 意 事 項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は①～④です。最初に確認すること。
4. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
5. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
6. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

1 次の設問(問1・2)に答えなさい。

問1 下線部の発音が他と異なるものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. ア watched ed イ looked ed ウ listened ed エ washed ed

2. ア lose se イ woman an ウ through gh エ blue ue

3. ア sweater er イ great at ウ break ak エ steak ak

問2 単語のアクセント(強勢)の位置が第2音節にあるものをア～ケから3つ選び、記号で答えなさい。

ア pho-to-graph イ un-der-stand ウ con-ven-i-ence

エ con-tin-ue オ ham-burg-er カ en-gi-neer

キ um-brel-la ク en-er-gy ケ dis-ap-pear

2 次の設問(問1・2)に答えなさい。

問1 次の英文の()に当てはまるものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. A : When will the man finish repairing the bike?

B : He'll finish before it () dark.

ア gets

イ got

ウ was getting

エ will get

2. A : I have already done my homework. How about you?

B : I () mine just now.

ア do

イ did

ウ will do

エ have done

3. A : I just saw Keiko at Tokyo Station.

B : No way. The girl () be Keiko. She went abroad yesterday.

ア will

イ may

ウ mustn't

エ can't

4. A : He was so angry. What happened?
B : Maybe he was laughed () someone.

- | | |
|---------|------|
| ア at | イ by |
| ウ at by | エ to |

5. A : Would you mind () a picture?
B : Of course not.

- | | |
|----------|-----------|
| ア take | イ to take |
| ウ taking | エ took |

6. A : A boy is in that () building!
B : Really? We have to save him.

- | | |
|----------|-----------|
| ア burn | イ burning |
| ウ burned | エ to burn |

7. A : () is the population of Sapporo?
B : It's over 1.9 million. Sapporo is the fifth largest city in Japan.

- | | |
|------------|---------------|
| ア What | イ How much |
| ウ How many | エ What number |

8. A : What are you looking for?
B : I'm looking for the book () I borrowed from Tom.

- | | |
|---------|---------|
| ア which | イ when |
| ウ what | エ whose |

9. A : Drive more carefully, () you'll have an accident.
B : I know. I will not use a smart phone while I'm driving.

- | | |
|-------|-------|
| ア and | イ but |
| ウ or | エ so |

10. A : Where are Nancy and George from?
B : Not sure. I guess () of them is from Michigan.

- | | |
|----------|--------|
| ア all | イ both |
| ウ either | エ some |

問2 次の英文の()内の語(句)を並べかえて、日本文の意味を表す英文を完成しなさい。ただし、文頭にくる語(句)も小文字にしてある。

1. 馬に乗るのは難しいと思った。

(a horse / difficult / I / it / ride / thought / to).

2. トムが驚いた知らせは、オリンピックが東京で開催されるということだった。

(surprised at / the news / Tom / was / was) that the Olympics would be held in Tokyo.

3. ナンシーほど上手に絵が描ける友達他にはいない。

(better / can / draw / friend / no / other / pictures) than Nancy.

4. 先生が私たちに話してくれた物語は面白かった。

The story (by / interesting / our teacher / to us / told / was).

3 次の設問(A～D)に答えなさい。

A 次の各英文の下線部の意味として適切なものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. Mike forgot to bring back the library books before winter vacation. When he came back, there was an e-mail from the library. The books were overdue, and he had to pay \$3.00.

ア late in being returned

イ kept in a large building for a long time

ウ lost in some place with no good care

エ sold out very soon

2. Though the new president had a lot of difficulties, he was able to bring about some important changes at the university.

ア find the right answer to a problem

イ become different from others

ウ pay no attention to something

エ make something happen

B 次の英文の空所(1)～(4)に当てはまる語(句)をア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。*印は注があることを示します。

We often think of insects as bad, scary, or even dangerous. (1), scientists have shown that many kinds of insects have an important role in nature. (2), when *bees visit flowers, they help the plants have fruit and produce young. Other insects break down dead leaves, plants and trees on the ground. (3), they make the land better for growing things. Still, other kinds of insects clean up and recycle dead animals. And then there are the insects that live on larger animals : human skin, especially on the face, is covered with very small insects called *mites. We might not like the idea of mites on our skin, but we do not feel them and they are completely harmless. (4), scientists believe they probably help keep our skin clean.

注 bee…蜂 mite…顔ダニ

ア For example

イ However

ウ In fact

エ In this way

C 次の英文のパラグラフ(段落)には、まとまりをよくするために取り除いたほうがよい文が1つある。取り除く文として適切なものを下線部①～⑤の中から1つ選び、番号で答えなさい。

Some of the people of Mongolia live in houses called yurts. They build their yurts of wood and animal skins. ①Yurts are light and easy to carry. These Mongolian families don't live in one place all the time. ②They travel with their animals. ③They have a very good time with travelers. ④A family can take down their yurt and carry it with them. ⑤Then they put it up in a new place. This way they have a new home ready in a short time.

D 次の文章の空所[1]～[3]に当てはまる英文をア～カから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。*印は注があることを示します。

Emily Dickinson wrote about two thousand poems. But just seven came out in her lifetime. [1] She felt afraid that *fame might change her. She also felt afraid that lack of fame would be disappointing.

Dickinson lived in her childhood home in a small town. She almost never saw guests. [2]

In 1862, she felt she needed an editor. She sent four poems to Thomas Wentworth Higginson. He was a writer in Boston. At once, Higginson knew that she was a great *poet. He wrote back to her with suggestions. Thus began a long friendship. They met only twice, because Dickinson would not travel to Boston. Dickinson died in 1886. Only Higginson and a few close friends knew about her poems. In 1890, he printed her first book. [3]

注 fame…名声、評判 poet…詩人

ア She gained the fame she had felt worried about.

イ She knew that her books would not sell well.

ウ She got a lot of money from it and spent her life happily.

エ She spent her time alone, writing poems and letters.

オ They appeared without her name.

カ They didn't want to see her because she liked to be alone.

4 次の英文を読んで、後の設問(問1～5)に答えなさい。
*印は注があることを示します。

It was six o'clock at the *mall, and I was as tired as an *elf on Christmas Eve. In fact, I was an elf and it was Christmas Eve. That December of my sixteenth year, in 1995, I'd been working as an elf for Santa to help with kids' photos. I'd worked twelve hours straight the day before: on Christmas Eve, things were so busy at Santaland that I hadn't even had a coffee break all day.

I looked over at Shelly, our manager, and she gave me an encouraging smile. Even though she'd been thrown in as manager halfway through the season, she'd made all the difference in the world. My job had changed from boring to challenging. Instead of ordering us to keep in line, she encouraged us, stood behind us and she always had a smile. Under her leadership, we'd done the highest number of mall photo sales in California.

I knew it was a difficult holiday season for her — she'd recently suffered the loss of her baby. I hoped she knew how great she was and what a difference she'd made to all her workers.

Our place in the mall was open until seven: at six, things started to slow down and I finally took a break. Although I didn't have much money, I really wanted to buy a little gift for Shelly so that she'd know we were thankful for her. I got to a store that sold soap and things for women just as they were going to close it. "Sorry, we're closed!" barked the clerk, who looked as tired as I was and didn't sound sorry at all.

I looked around and, to my disappointment, found that all the stores had closed. I'd been so tired I hadn't noticed. I was really unhappy.

On my way back to our place at Santaland, I saw that *Nordstrom was still open. Nervously I hurried inside and followed the signs toward

the Gift *Gallery. However, I began to feel very uneasy. It seemed the other people were all very well-dressed and rich — and here I was a poor *teenager in an elf suit. *How could I find something under fifteen dollars?*

I slowly walked into the Gift Gallery. A saleslady, who looked as if she'd just stepped off a *fashion runway, came over and asked if she could help me.

As quietly as possible, I said, "No, that's okay. Just help somebody else."

She looked right at me and smiled. "No," she said. "I want to help *you*."

I told the woman who I was buying for and why, then I did not like saying it but I told her that I only had fifteen dollars to spend. She looked as pleased and kind as if I'd just asked to spend \$1,500. She carefully went around, selecting a few things that would make a nice basket. The total came to \$14.09.

The store was closing; as she checked my money, the lights were turned off.

I was thinking that if I could take them home and wrap them, I could make them really pretty but I didn't have time.

As if reading my mind, the saleslady asked, "Do you need this wrapped?"

"Yes," I said.

By now the store was closed. Over the loud speaker, a voice asked if there were still customers in the store. I knew this woman probably wanted to get home quickly on Christmas Eve like everybody else, and here she was waiting on some kid buying something small.

But she was gone in the back room a long time. When she returned, she brought out the most beautiful basket I'd ever seen. It was all wrapped

up in silver and gold, and looked as if I'd spent fifty dollars on it — at least. I couldn't believe it. I was so happy!

When I thanked her, she said, "You elves are out in the mall spreading joy to so many people, I just wanted to bring a little joy to you."

"Merry Christmas, Shelly," I said back at our place at Santaland. My manager cried out when she saw the present; she was so touched and happy that she started crying. I hoped it gave a happy start to her Christmas.

All through the holidays I couldn't stop thinking about the kindness and effort of the saleslady, and how much joy she had brought to me, and in turn to my manager. I thought the least I could do was to write a letter to the store and let them know about it. About a week later, I got a reply from the store, thanking me for writing.

I thought that was the end of it, until mid-January.

That's when I got a call from Stephanie, the saleslady. She wanted to take me to lunch. Me, a fifteen-dollar, sixteen-year-old customer.

When we met, Stephanie gave me a hug, and a present, and told me this story.

She had walked into an employee meeting to find herself on the list of *nominees to be named the Nordstrom All-Star. She was confused but excited, as she had never been *nominated before. At the point in the meeting when the winner was announced, they called Stephanie's name — she'd won! When she went up to the front to accept the award, her manager read my letter out loud. "This is what we want all of our employees to be like!" said the manager. Everyone gave her a huge round of *applause.

I was already a little surprised when Stephanie took my hand. "But that's not the best part, Tyree," she said. "The day of that store meeting, I

took the list of nominees, and put your letter behind it. I took it home and gave it to my father. He read it to everyone and looked at me and said, "When do you find out who won?"

I said, "I won, Dad."

He looked me right in the eye and said, "Stephanie, I'm really proud of you."

Quietly, she said, "My dad has never said he was proud of me."

I think I'll remember that moment all my life. That was when I realized saying 'thank you' can be a powerful gift. Thanking Shelly for her work had set off a chain of events — Stephanie's beautiful basket, my letter, Nordstrom's award — that had changed at least three lives.

Though I'd heard it all my life, it was the Christmas when I was an elf — and a poor teenager — that I truly came to understand that the littlest things can make the biggest difference.

注

mall ショッピングモール

elf 妖精

Nordstrom ノードストロム(アメリカでも有数のデパートの名前)

gallery 商品が展示してある所

teenager 10代の若者

fashion runway ファッションショーでモデルが歩くステージ

nominee 候補にあがった人

nominated 候補にあげられた

applause 拍手喝さい

問1 次のア～カの出来事を物語の中で起こった順に並べかえ、記号で答えなさい。

ア I decided to send a letter to the company where that clerk was working, because I wanted to show my thanks.

イ I gave the present to our manager. She was very glad to receive my present.

ウ I had a call from the clerk and I found out what had happened to her since Christmas Eve.

エ I went to the store to look for the present, but I felt I was out of place. I told a clerk that I was looking for a Christmas present.

オ I wore an elf suit and took pictures with children who came to the shopping mall.

カ Our new manager took care of us, so I wanted to give her a Christmas present.

問2 次の質問に対する答えとして適切なものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. After Shelly came to Santaland, Tyree and the other workers changed a lot. They felt they wanted to work more. Why was that?

- ア Shelly did the highest number of mall photo sales.
- イ Shelly was always encouraging them with a smile.
- ウ Shelly was always ordering what to do.
- エ A holiday season had just come.

2. Why did Shelly have a hard season?

- ア Her baby passed away.
- イ She had to sell more photos.
- ウ She moved to Santaland as a manager.
- エ She was so busy that she couldn't have any time to rest.

3. When Tyree told Stephanie that she did not need her help, why did Stephanie say "No" to Tyree?

- ア Stephanie always gave her help to any person who needed it.
- イ Stephanie knew that people in Santaland had done great sales.
- ウ Stephanie knew that the person had only \$15, so she wanted to help her.
- エ Stephanie wanted to do a little thing to show her thanks.

4. Why did Tyree make up her mind to send a letter to Nordstrom?

- ア Although Tyree had only \$15, the clerk helped her a lot because she wanted to sell more.
- イ Although the mall was closed, the clerk worked for Tyree because it was her job.
- ウ The way of wrapping was so beautiful.
- エ The clerk brought Tyree joy.

問3 次の質問に対する答えとして、本文の内容に合うようにア～エを並べかえるとき、最も適切な配列のものを①～④の中から1つ選び、番号で答えなさい。

After Christmas Eve, what happened to Stephanie?

- ア Her manager read Tyree's letter.
- イ She went to the meeting.
- ウ She found out the reason why she was chosen as the winner.
- エ She realized she was nominated for an award.

- ① イ - ウ - ア - エ
- ② エ - イ - ウ - ア
- ③ イ - エ - ア - ウ
- ④ エ - ア - ウ - イ

問4 次の英文1～4の空所に当てはまる語を、それぞれ下の語群の中から1つ選び、必要があれば形を変えて答えなさい。ただし、同じ語を2度使うことはできない。

1. Tyree () Shelly, because Shelly always paid attention to Tyree and the other workers.
2. When Tyree went into Nordstrom, she felt it was not a good place for her to come. So, she did not feel ().
3. Stephanie knew what people in Santaland did in the shopping mall on Christmas Eve, so she was () to help Tyree.
4. The happiest thing for Stephanie was what her father said to her. It was the first time for her to hear such words from her father. So, her winning was the most () thing in her life.

comfortable	glad	thank	value
-------------	------	-------	-------

問5 次の英文はこの話を読んだ後、Celia先生とクラスの生徒が話し合ったものである。空所に入る適切な英文を書きなさい。

- Celia : Do you understand what the writer wanted to tell in this story?
Student : Umm, I think she wanted to say 'thank you' to Stephanie.
Celia : Well, that's one thing. But this writer wanted to show a stronger message to the readers. She wanted to express what she had learned from this experience. What was it?
Student : What do you mean?
Celia : She got something important for her life.
Student : Let me see... I think, according to Tyree's words, she learned that .
Celia : That's right. That is her message for you.

平成29年度 一般入試

英語 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

1 問1 1 _____ 2 _____ 3 _____

※

問2 _____

2 問1 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

※

6 _____ 7 _____ 8 _____ 9 _____ 10 _____

問2 1 _____

※

2 _____ that ~.

3 _____ than Nancy.

4 The story _____.

3 A 1 _____ 2 _____

※

B (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

C _____ D [1] _____ [2] _____ [3] _____

4 問1 _____ → _____ → _____ → _____ → _____ → _____

問2 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 問3 _____

※

問4 1 _____ 2 _____

3 _____ 4 _____

※

問5 _____

受験番号				氏 名	